

つどいの広場研修事業「子育てひろば研修セミナー」

出会い、つながり、 支えあう「ひろば」作りを目指して

～子育て支援拠点(ひろば)の「はじめの一步」を共に歩き出すために～

子育てひろば立ち上げ支援セミナー ＜大阪開催＞のご報告



開催概要

- ◆開催日:平成20年2月2日(土)13:00～16:45
2月3日(日)10:00～12:40
- ◆会場:クレオ大阪西(大阪府大阪市此花区西九条 6-1-20)
- ◆交通:JR環状線・阪神西大阪線「西九条」駅下車、徒歩約3分、市バス「西九条」下車、徒歩約2分
- ◆定員:150名(事前申込み)
- ◆託児:定員10名、500円/1人1日(1歳以上の未就学児・事前申し込み・当日精算)
- ◆主催:財団法人こども未来財団
- ◆共催:NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- ◆後援:厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・大阪府・大阪市・(社福)大阪府社会福祉協議会・
(社福)大阪市社会福祉協議会・(財)地域福祉推進財団
- ◆協力:大阪つどいの広場ネットワーク
- ◆参加者:331人(のべ516人)

プログラム趣旨

子育てひろばの開設をめざす団体や自治体、市民のみなさんのために、ひろば立ち上げに関する情報やノウハウを提供するセミナーです。1日目のプログラムでは、子育て支援拠点事業の現状を知り、その意義と役割への理解を深めます。2日目には、ひろば開設へ向けての団体作りや行政との関係を知る分科会や、資金面や地域の支援、つながりなどを知る分科会、広場スタッフのための運営のスキルを学ぶ分科会、今の思い、疑問点を語り合う分科会などを開催し具体的な準備や、初期の課題とその解決方法について学びます。様々な運営主体が開設している多様なひろばを見学できます。

内 容

- ◆ 1日目 2月2日 12:30 受付開始
13:00～16:45



全体司会 NPO 法人 Chacha—House 岡本美香さん
開会挨拶・主催者挨拶 13:00～13:15
財団法人子ども未来財団 岡林一枝さん





全体司会 岡本美香さん



こども未来財団 岡林一枝さん



大阪府子育て支援課長 小原理恵さん 大阪市子育て支援課長代理 岸本弘子さん 大阪つどいのひろばネットワーク 砂田喜三子さん

●プログラム1 13:15～14:00

【基調報告】「地域子育て支援拠点事業の概要と展望」
厚生労働省 少子化対策企画室 朝川知昭さん



朝川室長より現在の日本における少子化の背景や、国がすべての子育て家庭の支援”をすすめるためにどのような戦略を策定しているかなどデータをもとに説明がありました。さらに、行政とNPOとの協働や次世代を育む循環としての展開など、ひろばの今後の課題や期待が語られました。直接厚生労働省の方から説明が聞けた良い機会であったとの感想をいただいています。

●プログラム2 14:00～15:15

【基調講演】

テーマ「子育て支援拠点に求められる役割や機能について」

講師 日本福祉大学教授 渡辺颯一郎さん



地域で子育てを支える必要性から、現場での実践例を交えながら、ひろばの形態は違っても共通する役割や機能は「乳幼児の親子が気軽に集え、さまざまな年代と交流できる場であること」「利用者同士はもちろん、地域や各施設へもつなぐ役割を担っていること」「虐待の発生予防や早期発見の場でもあること」などを話されました。「とてもわかりやすかった。」「実践の話しがとても身近に感じられた。」との感想が寄せられています。

●プログラム3 15:30～16:45

【ワンポイント解説】

つどいの広場劇場～「ひろば」ってこんなところですよ

コーディネーター 大阪つどいの広場ネットワーク 大北規句雄さん

コメンテーター NPO 法人びーのびーの 奥山千鶴子さん



(事例1)

初めてひろばに来た人に (気をつけているポイント)

NPO 法人ふらっとスペース金剛 (ふらっとスペース金剛)



<キリンさんマークは楽しい目印です>

<利用者目線の取り組みを紹介>

(事例2)

父親クラブの取組みから(仲間作り・親学習の取組みから)

NPO 法人いずみ鶴山台母親クラブ (いずみエンゼルハウス鶴山台)



<父親クラブのパパたち>

<アイスブレイキングを体験！>

(事例3)

スペースが狭くても、狭いからこそ楽しく (ホッとできる「ひろば」づくり)

NPO 法人 Chacha-House (ちゃちゃはうす)



<参加者ママもマイクを持って。校区福祉委員会 (地区社協) 委員長さんも登場>

(事例4)

こどもも保護者も楽しく過ごす「ひろば」づくり

NPO 法人子育てネットみちくさ (中まちかど子育てサポートルーム)



<高校の空き教室でひろばを実施しています>



<ひろばの取り組みの様子を元気に紹介>

ひろばでの実践例を聞き、ひろばでのスタッフの役割の確認、父親クラブの父親たちが出演し利用者としての感想の発表、利用者や地域の団体の方も出演してのひろばの様子紹介、ひろばの中で取り組まれているイベント時の様子などを舞台上で再現しました。スタッフ、利用者、地域、イベントなどひろばを実施していく中で大切にしている点を特徴的に表現しました。

◆2日目 2月3日 9:30 受付開始
10:00~12:40



●プログラム4 10:00~12:00
【分科会】

◆ 分科会①「ひろば」に参加者が求めるもの
～参加者ニーズにそった「ひろば」運営とは～ 65名参加

コーディネーター 聖和大学専任講師 橋本真紀さん
パネリスト ファミリーポートひらかた(運営者) 山下裕美さん
あいあいルーム(運営者) 高橋福子さん
森のひろば(参加者) 中村久美さん
おやこ広場マザーグース(MOCOMOCO)(参加者) 森脇隆行さん



ひろばに来られるということは「来たい」というニーズであり、まずはその気持ちを受け入れ、その裏にある気持ち（おしゃべりしたい、ホッとしたい、情報がほしいなど）をキャッチし、入り口に来られた時には中へのつなぎをしっかりとすることが大切です。スタッフがどんな「ひろば」にしたいのかの目的意識を持ち、利用者の多様なニーズとすりあわせていくことが大事だが、「ひろば」が全てのニーズにこたえられるわけではないので、できないときは地域や子育て支援団体とつながることができるよう地域との連携も必要であるといったことが話し合われました。最後は、「どうしたいん？」の大阪弁にこめられた想いを大事にしながら運営を進めていこうとのまとめで終わりました。

◆分科会②「行政の関係作りを考える上で大切なこととは」

65 名参加

コーディネーター 大阪ボランティア協会事務局長 早瀬 昇さん
パネリスト 茨木市子育て支援課 佐藤房子さん
和泉市子育て支援室 中田康夫さん
NPO 法人ハートフレンド 徳谷章子さん
アドバイザー 厚生労働省少子化対策企画室 朝川知昭さん



行政にしかできないハード面は、しっかりと行政に頑張ってもらい、民間団体もあきらめないうで、行政側とコミュニケーションをしっかりととり、両者がお互いを理解するところから行政との協働は始まる。団体だけではできない部分を補うために、また、財政難を乗り切るために、地域の既存の団体（連合町会、社会福祉協議会など）とのつながりも大切にしていけることが必要です。他の機関に上手に頼ることが大事だが、「頼る」というのは自立していないとできません。上手に甘えて頼ることで、人と人のつながりができ、お互いを生かすことができるのではないかといいことが語られました。そのためには、ネットワークが重要であり、「ネットワークはフットワークの積み重ねである」、とのまとめで終わりました。

◆分科会③「ひろば」立ち上げ物語～私達の場合～

コーディネーター NPO 法人高槻子育て支援ネットワークティピー 石井智子さん
パネリスト 子育て CoCo ステーション 藤内雅子さん
NPO 法人キッズぽてと 鈴木厚子さん
わいわいステーション 濱田英世さん



参加者の方に分科会で求めるものについて課題を出していただいたのち、3団体の立ち上げに至った経過を聞きました。その後、3グループに分かれてそれぞれの発表を聞いた上での思いを語り合いました。3グループ共、立ち上げ時の資金、スタッフ間の意識の違い等さまざまな話が出ました。最後に「スタッフとして、自分達が元気をもらえる広場でありたい。」「まず、出来ることから、少しずつコツコツ積み上げて、「ひろば」立ち上げに向けてまずは行動をおこそう。」といったまとめで終わりました。

◆分科会④「とことん井戸端会議～ひろば運営の疑問に答える！」

コーディネーター

大阪市立大学教授

山縣文治さん



行政・現場スタッフ・これから立ち上げの方をバランスよく4チームに分けた。その後、リーダーを中心にフリー討議しました。今かかえている問題、質問が山積みで終了間際まで活発に話し合いが行なわれました。

●プログラム5 12:10～12:40

【全体会】

コーディネーター NPO 法人 Chacha-House 安孫子浩子さん

報告者 分科会1 橋本真紀さん

分科会2 早瀬 昇さん

分科会3 石井智子さん

分科会4 山縣文治さん

4分科会からそれぞれの内容を発表いただき、全体のまとめとしました。

●情報交換会（オプション） 14:00～15:30

4グループに分かれて、グループ毎に1時間の情報交換を行った。

その後全体で、他のグループにきいてみたいことを30分間情報交換した。熱心な話し合いがなされ、活気ある情報交換の場となりました。